

## 学校登山における生徒の意識に関する調査結果と考察

～登山前と登山後の生徒の意識の比較を中心に～

長野県山岳総合センター

### 1. はじめに

長野県山岳総合センターでは、毎年調査研究を行いその結果を公表してきている。

ここ 2 年間の調査研究では、「学校登山における生徒の意識」を中心に、2014（平成 26）年には「学校登山における生徒の意識の実態」について、2015（平成 27）年には「山小屋泊登山と日帰り登山の比較」についてアンケート調査を実施しその結果について考察した。

今年度は、「学校登山における生徒の意識」面の調査を継続し、「登山前」と「登山後」における生徒の意識の違いについて比較検討をしてみた。

### 2. 調査内容

#### 2.1 調査方法

学校登山を実施した 1 校を選び、その学年の生徒にアンケートへの記入をお願いした。

##### 【登山実施時期】

2016（平成 28）年 7 月 20 日～21 日

##### 【登山形態】

山小屋泊 1 泊 2 日登山

##### 【調査対象校の様子】

2 学年生徒（男子 66 名 女子 43 名 計 109 名） 4 クラス

\*アンケート結果は、1 クラスを除く 3 クラス分を集計

(登山前学習で取り組んだ内容)

- ・外部講師（山岳総合センター職員）が生徒に話をする
- ・先生が下見時に撮った写真を掲示する
- ・下見時の様子を生徒に話す
- ・登山に向けてのトレーニングを実施(スクワット・腹筋、背筋トレーニング・グランドをランニングする・校内をカバンを背負って歩く)
- ・しおりの読み合わせ

(登山後学習で取り組んだ内容)

- ・登山新聞の作成（全員）
- ・文化祭での登山の様子の発表（代表生徒）

(登山時の天候)

- ・2 日間とも曇り（2 日間とも雨具は使用せず）

(登山中に出会えたもの)

- ・山々の眺め（霧がかかっている時間が長かったが、時折景色が見えた）
- ・高山植物
- ・見事な雲海

(特記事項)

- ・バス酔いによる体調不良により、途中で下山した生徒がいた
- ・下山時に、恐怖心からか、かなり時間を要する生徒がいた

## 2.2 アンケート項目

「登山前」アンケート項目	「登山後」アンケート項目
①あなたは           ・男子           ・女子	
<p>②登山を前にして、楽しみにしていることに○印をして下さい。</p> <p>( ) 山の自然（景色・ご来光・高山植物・ライチョウなど）</p> <p>( ) 爺ヶ岳の頂上に立つこと</p> <p>( ) 山小屋での生活（食事など）</p> <p>( ) 友達といっしょに登ることや、友達といっしょに山小屋に泊まること</p> <p>(自由記述) ほかに楽しみにしていることがあったら書いてください。</p>	<p>②登山のとき、うれしかった、楽しかったと思ったことに○印をして下さい。</p> <p>( ) 山の自然（景色・高山植物など）に出会えたこと</p> <p>( ) 爺ヶ岳の山頂に登ったこと</p> <p>( ) 山小屋での生活（食事など）</p> <p>( ) 友達といっしょに登ったことや、友達といっしょに山小屋に泊まったこと</p> <p>(自由記述) ほかにうれしかったこと、楽しかったことがあったら書いてください。</p>
<p>③登山を前にして、不安なことや心配なことに○印をして下さい。</p> <p>( ) 当日の天気</p> <p>( ) 当日の自分の体調や体力（頂上まで登れるかどうかなど）</p> <p>( ) 山小屋での生活（食事、トイレのこと、よく眠れるかどうかなど）</p> <p>(自由記述) ほかに不安なことや心配なことがあったら書いてください。</p>	<p>③登山のときに、つらいと感じたり、たいへんだと感じたりしたことに○印をして下さい。</p> <p>( ) 天候面</p> <p>( ) 体力面</p> <p>( ) 山小屋での生活面</p> <p>(自由記述) ほかに、つらいと感じたり、たいへんだと感じたりしたことがあったら書いてください。</p>
<p>④事前学習の内容で、自分から進んで学習に取り組めたことに○印をして下さい。</p> <p>( ) 山岳総合センター職員の話聞いたこと</p> <p>( ) 下見の様子の写真を見たこと</p> <p>( ) 先生から下見の時の話を聞いたこと</p> <p>( ) しおりの読み合わせをしたこと</p> <p>( ) 登山に向けての体力づくり（スクワット・ランニング・腹筋、背筋運動・カバンを背負っての歩行など）</p>	<p>④事前学習の内容で、実際の登山の時に役立ったと思ったことに○印をして下さい。</p> <p>( ) 山岳総合センター職員の話聞いたこと</p> <p>( ) 下見の様子の写真を見たこと</p> <p>( ) 先生から下見の時の話を聞いたこと</p> <p>( ) しおりの読み合わせをしたこと</p> <p>( ) 登山に向けての体力づくり（スクワット・ランニング・腹筋、背筋運動・カバンを背負っての歩行など）</p>
<p>⑤登山を前にした今の気持ちは、4つのうちのどれですか。一つだけに○印をして下さい。</p> <p>( ) とても楽しみ</p> <p>( ) 少し楽しみ</p> <p>( ) あまり楽しみではない</p> <p>( ) まったく楽しみではない</p>	<p>⑤これからもチャンスがあれば登山をしたいと思いますか？ 一つだけに○印をして下さい。</p> <p>( ) 登山をしたいと、とても思う</p> <p>( ) どちらかという、登山をしたいと思う</p> <p>( ) どちらかという、登山をしたいとは思わない</p> <p>( ) 登山をしたいとは、全く思わない</p>

### 3. 調査結果

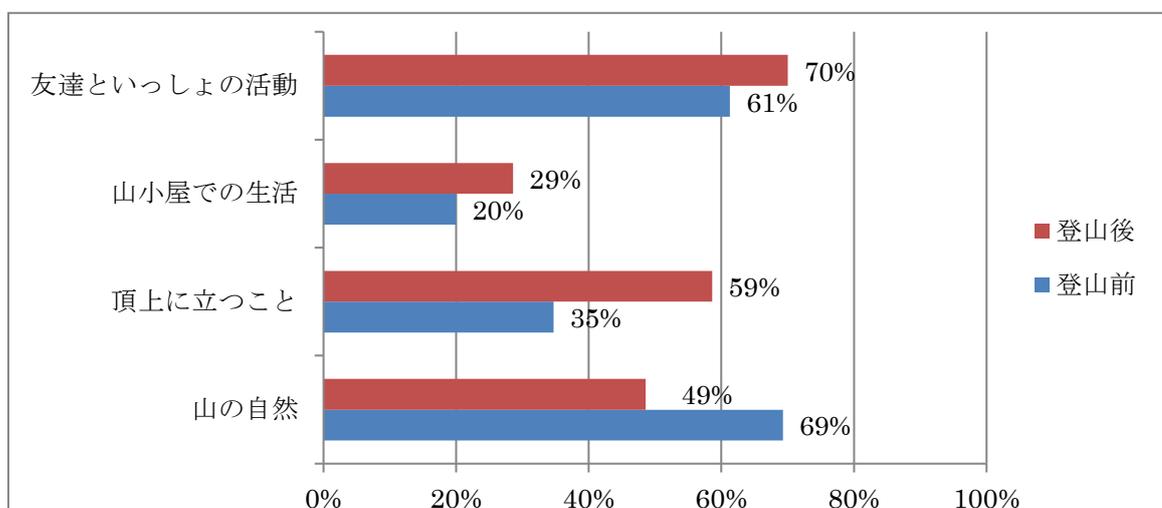
3.1 登山前・登山後アンケートの結果 【登山前】 男子 45 名 女子 30 名 計 75 名  
【登山後】 男子 40 名 女子 30 名 計 70 名

3.1.1 【登山前】 登山を前にして、楽しみにしていることはどんなことか

(楽しみにしていることの生徒の割合 複数回答)

【登山後】 登山のとき、うれしかった、楽しかったと思ったことはどんなことか

(うれしかった、楽しかったと思ったことの生徒の割合 複数回答)



《自由記述の内容》

【登山前】

- ・山の空気
- ・登山前のバスや登ることが楽しみです
- ・珍しい動物に出会う

【登山後】

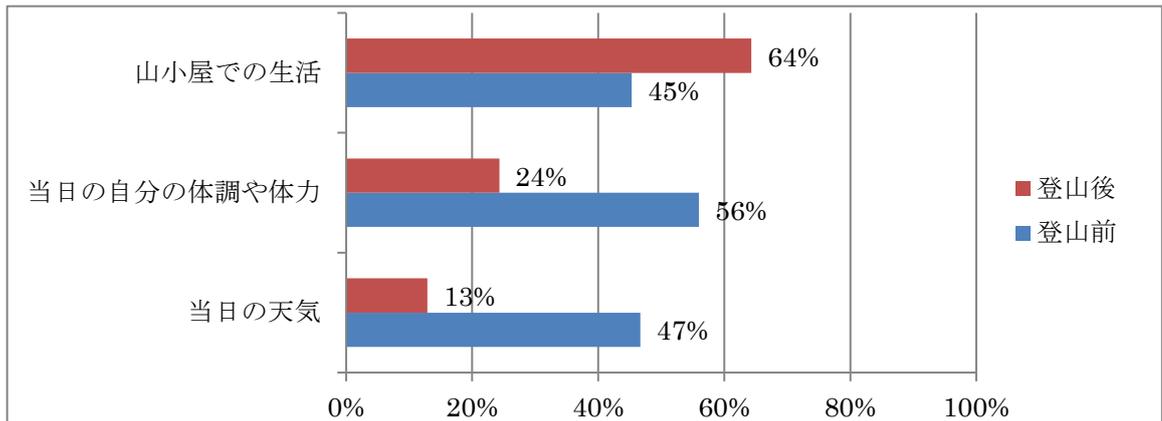
- ・友達と写真が撮れた。登山をしていた方がおせんべいをくれた
- ・お弁当を食べたとき
- ・下山して楽しかった
- ・危ないことを少しは出来たから楽しかった
- ・ケガが無いように下山出来て良かった

3.1.2 【登山前】 登山を前にして、不安なことや心配なことはどんなことか

(不安なことや心配なことの生徒の割合 複数回答)

【登山後】 登山のとき、つらいと感じたり、たいへんだと感じたりしたことはどんなことか

(つらいと感じたり、たいへんだと感じたりしたことの生徒の割合 複数回答)



《自由記述の内容》

【登山前】

- ・全体
- ・高所恐怖症
- ・高山病
- ・ケガ
- ・水が足りるか
- ・山小屋の環境
- ・朝ご飯が しっそ？
- ・食事を残さず食べないといけないから
- ・忘れ物

【登山後】

- ・酸欠で頭が痛かった
- ・お手洗いの臭いがきつかったです
- ・お手洗いの臭いが目立ちました
- ・高い所、狭い所
- ・2日目の山頂に登る時、休憩無しだったこと
- ・下山中、息をすると心臓が痛くなる なぞの病
- ・高所恐怖症
- ・足の痛さ
- ・ケガ

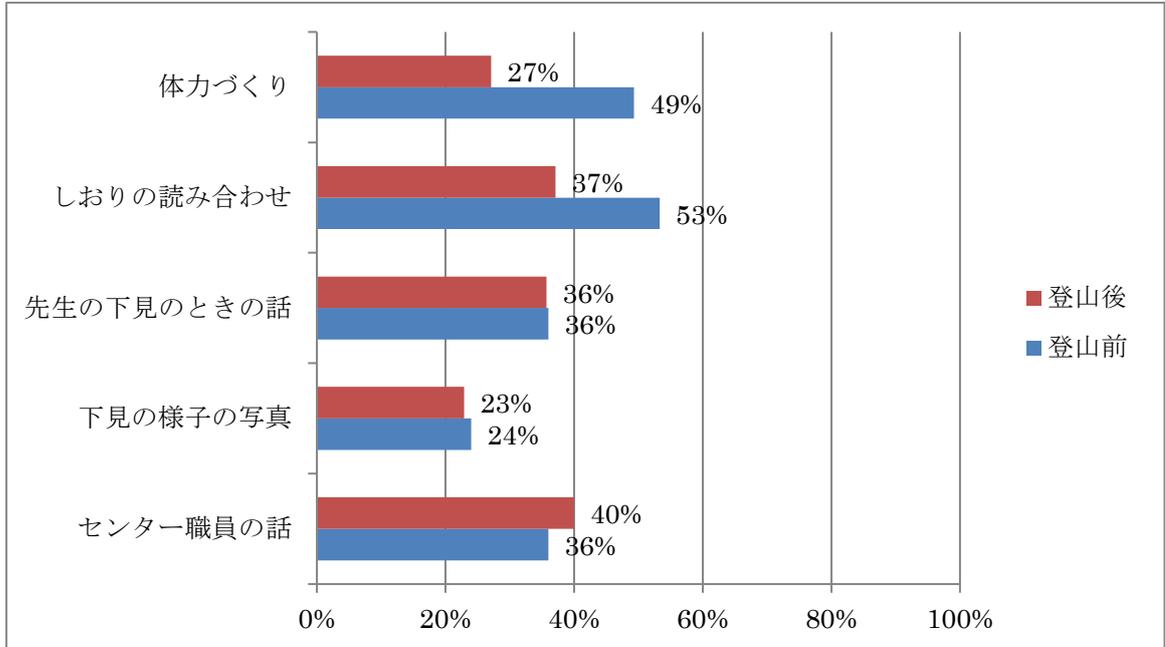
・高山病

3.1.3 【登山前】 事前学習の内容で、自分から進んで学習に取り組めた内容

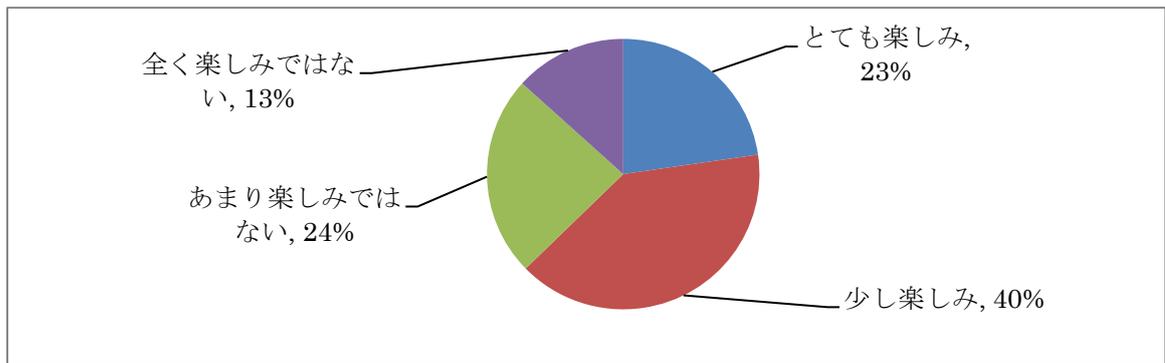
(自分から進んで学習に取り組めた内容の生徒の割合 複数回答)

【登山後】 実際の登山のときに役立ったと思った事前学習の内容

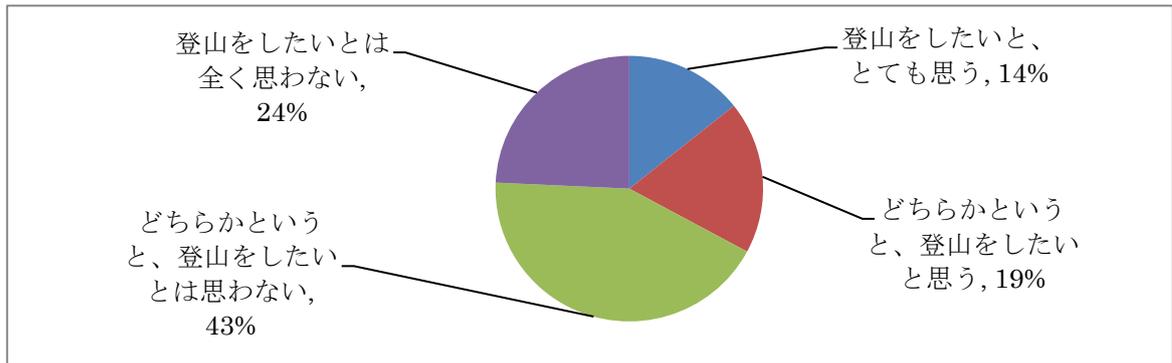
(役立ったと思った事前学習の内容の生徒の割合 複数回答)



3.1.4 【登山前】 登山を前にした今の気持ち (択一回答)



3.1.5 【登山後】 これからもチャンスがあれば登山をしたいと思うか (択一回答)



## 4. 考察

### 4.1 登山前に楽しみに思っていることと、実際に登山を経験して、うれしかった、楽しかったと思ったことについて

登山前に楽しみに思っていることで一番多かったのは、「山の自然」。次いで多かったのは「友達といっしょの活動」であったが、登山後では「友達といっしょの活動」が一番多くなり、7割の生徒が、うれしかった楽しかったと答えている。

天候が2日間とも曇りということで、晴れていれば見ることができた景色に出会えることができなかったことも、登山後の「山の自然」が減っている一因になったかもしれない。

2年前の調査研究でも触れたように、「学校登山」で登る山は、「友達と一緒に登る山」という要素が強く、登山を通して普段の生活ではなかなか経験できない人間関係を学んでいることがうかがえる。人間関係を学ぶという点では修学旅行でも同じような体験をすると思う。この修学旅行に比べて、環境面や体力面等である程度厳しい場面で「友達と苦楽を共にする」登山は、より貴重な体験になるのではないだろうか。

登山の前後で一番変化が大きかったのは、「頂上に立つこと」であった。登山前35パーセントの生徒が楽しみにしていたのが、登山後になると59パーセントの生徒がうれしかった、楽しかったと答えている。苦勞して登って頂上に立った経験は、満足度の高いものになっていることがわかる。

### 4.2 登山前に不安なことや心配なことと、実際に登山を経験して、つらかった、たいへんだったと感じたことについて

登山前に不安に感じたり心配に思ったりしたことで一番多いのは、「当日の自分の体調や体力」で、約6割の生徒がそのように答えていた。

実際に登った後、登山がづらい、たいへんだったと答えた生徒は、4人に1人だった。心配はしていたけれど実際はそれ程ではなかったと言う生徒が多かったようだ。

登山の場合、「当日の天気」はとても気になる場所だが、今回の登山では雨に降られなかったということで、天候面でづらい、たいへんだと感じた生徒は13パーセントと少なかった。詳細はわからないが、この13パーセントの生徒のうち何人かは、登山当日にガスがかかっていたことで心配に思った生徒ではないだろうか。

「山小屋での生活」については、登山後につらい、たいへんだと感じた生徒が6割を超えた。この点については、2年前の調査研究でも触れたように、厳しい自然環境の中で営業し

ている山小屋の実情や苦労についてしっかり触れておく必要があると思う。「旅館」や「ホテル」と同じようにはならない理由、そして、厳しい環境の中でも登山者が少しでも快適に過ごせるようにと山小屋の方が努力されているということを、ぜひ事前学習で生徒達に伝えたい。

#### 4.3 事前学習の内容について

登山前の事前学習で、自分から進んで学習に取り組めた内容として一番多かったのは、「しおりの読み合わせ」で、次は「体力づくり」だった。

「体力づくり」を挙げた生徒が多かったのは、不安なこと、心配なことで「当日の自分の体調や体力」が多かったこととも関係していると思われる。初めて本格的な登山を経験する中学生にとって、「自分の今の体力で登れるのかな」という心配が大きいのだろう。

「しおりの読み合わせ」にも進んで学習に取り組んでいる生徒の様子から、タイムスケジュールや持ち物を確認するだけのしおりの内容ではなく、「登山の魅力に触れる」「生徒たちの心配を取り除く」「山小屋の生活を知る」等の内容にも触れる「しおりの読み合わせ」学習の内容が望ましい。この「登山の魅力に触れる」「生徒たちの心配を取り除く」「山小屋の生活を知る」等については、しおりの内容としてだけではなく、「先生の下見のときの話」にも盛り込みたい内容でもある。

#### 4.4 登山に対する「思い」について

登山前に「とても楽しみ」または「少し楽しみ」と答えた生徒は計 63 パーセントと、半数以上の生徒が登山を楽しみにしていた。

登山後になると、「登山をしないと、とても思う」または「どちらかという、登山をしないと、少し思う」と答えた生徒は計 33 パーセントと、上記の 63 パーセントと比べると約半減している。また、登山後にこれからもチャンスがあれば登山をしないと「全く思わない」生徒が 24 パーセントと、登山前に「全く楽しみではない」と答えた生徒の数字と比較すると、11 パーセント増えたという結果だった。

「山に登る前の登山に対する気持ち」と「山に登った後の登山に対する気持ち」は、単純には比較できない面があるが、登山を楽しみにしていた何人かの生徒たちの気持ちが実際に登ることで山から離れてしまった点、また、もともと山から離れていた生徒の気持ちがますます離れてしまったのは残念な結果といえる。

一方で、2014（平成 26）年の「学校登山における生徒の意識の実態」結果（調査対象は 3 校）では、登山後に聞いたアンケートで、「登山をしないと、とても思う」または「登山をしないと、少し思う」と答えた生徒は計 53 パーセントと半数を超えていた（登山前の意識調査は実施せず）。今回の調査ではこのような生徒が 33 パーセントと、前回 2014（平成 26）年の調査に比べると少ない結果だった。この結果は、生徒も違い登山当日の天候や登山時の条件も違うので単純に比べるわけにはいかないが、残念な数字ではある。

登山を楽しみにしていた生徒たちが、登山を通して、「これからもチャンスがあれば登山をしないと、少し思う」学校登山、またあまり楽しみにしていなかった生徒たちも、登山を通して、登山が少しでも好きになるような学校登山になればと思う。そのためには、事前学習が

ら始まって、登山当日そして登山後の学習への取り組み方が重要になってくるだろう。

## 5. まとめ

「学校登山における生徒の意識」について知ることを目的に、3年連続で「生徒の意識」について調査を継続してきた。

2014年の調査では、

「学校登山」において

- ・生徒たちは、山の自然に素直に感動している。
- ・生徒たちは、友達と過ごす山小屋での生活を楽しんでいる。
- ・生徒たちにとって「学校登山」で登る山は、「友達と一緒に登る山」という要素が強い。
- ・生徒たちは、登山を通して普段の生活ではなかなか学べないことを学んでいる。

というようなことがわかった。

2015年の調査では、

- ・「山小屋泊登山」を体験することで、「日帰り登山」に比べて、山の自然もより印象に残り、登山に参加した達成感を得られることができる。
- ・「山小屋泊登山」と「日帰り登山」の両生徒ともに、友達といっしょに登る登山を楽しんでいる。
- ・「宿泊の有無」と「これからも登山をしたい気持ち」とは関連がないようだ。
- ・「宿泊の有無」と「体力的なきつき（疲労感）」との関連も見られない。

というようなことがわかった。

そして3年目の今回の当センターの調査でもわかったことを参考にさせていただき、それぞれの学校がもつ地域性や伝統、その学年の生徒たちの様子、そして先生方の生徒に対する願いに応じて、登山に対する取り組み方を考えるようにしていただければと思う。

もちろん、学校登山はまず安全を最優先し、そのうえで生徒たちが“山の魅力、登山の楽しさ”を知る教育の場になるようにすることはいうまでもない。

当センターの取り組みがそのための一助になれば幸いである。